

# 戸田中央 専門学校 小中学生が仕事体験

看護師の仕事の魅力を知り将来の職業選択に生かしてもらおうと、戸田中央看護専門学校は9日、戸田市本町の同校で、小中学生を対象に「わくわくドキドキ看護学校体験」を開催した。小学3年～中学3年の男女37人と保護者ら計約70人が参加し、同校の教員や学生から看護師の仕事を学んだ。

女子は用意された白衣とナースキャップ、男子は水色の看護服に着替えると、気分はもう看護師さん。2班に分かれて体験を行い、正しい手洗い、ナースコールの対応、車いす体験のほか、赤ちゃんのダミー人形を使って抱き方やおむつの交換を実践した。

赤ちゃんの人形は首が据わっておらず、学生らが子どもたちに熱心に

## 気分は看護師さん

指導する姿もみられた。川口市の小学3年、大沢璃乃さん(8)は「いとお姉ちゃんが去年やって楽しそうだったので私もやってみようと思った。赤ちゃんの持ち方や首の支え方を学べて面白かった」と話した。

拳手によるアンケートでは看護師になりたい小中学生も多数いた。川口市の中学3年、岡田仁那さん(15)は「もともと体が弱くて病院の先生にお世話になり、看護師になりたいと思った。将来は優しく、笑顔で、信頼される看護師になりたい」と夢を語った。

体験は戸田、川口、蕨など地元の小中学生に看護の仕事や同校について知ってもらうことが狙いで、今年で4回目。地域の小中学校などに案内を出し、参加を呼び掛けている。磯野

記子副教務科長は「今日の体験は一部分でしかないが、楽しいなど感じてもらえたならよかった。看護師は非常にやりがいのある仕事。ぜひ目指してほしい」と願った。(勝俣直)



看護学生(右)の指導の下、ナースコールを受ける模擬体験に臨む小中学生ら。9日午後、戸田市本町の戸田中央看護専門学校